

—Hibanaのひいく!—

みんなで考えよう!

日本の森林のこと。エネルギーのこと。

## 第2章

# 木はエネルギー だった!



@hibana\_kyoto



## 前回のつづき

日本にはたくさん木が植わっているのに、  
なぜ外国から買うのでしょうか？

しかも、日本にある森林の半分近くは、  
元々生えていた木を伐って  
「スギ」や「ヒノキ」という木を  
人が植えた「人工林」。

どうしてわざわざ植え替えたのでしょうか？



@hibana\_kyoto

今から約6、70年前のこと。  
今80歳の人子ども~若者だった時のことです。

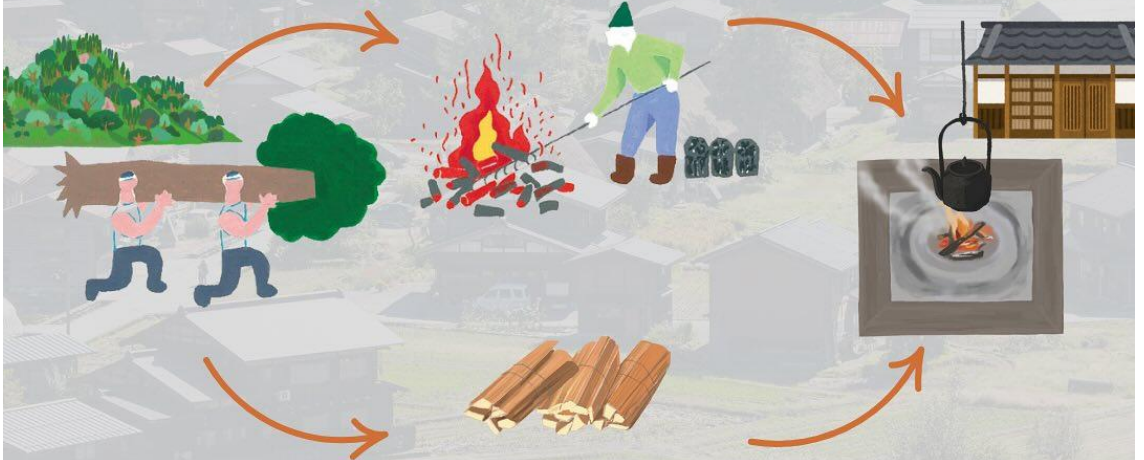
エネルギーの中心は木を割った「薪」や  
木を焼いて作った「炭」でした。  
つまり、木が電気やガスの役目を  
果たしていました。



@hibana\_kyoto

山の近くに住む人は  
木を伐って薪や炭を作り、  
町の人へ売ることが仕事でした。

町では、山の人作った薪や炭を  
買って暮らしていました。



@hibana\_kyoto

調理も、暖房も、給湯も、熱源は薪か炭。  
薪や炭を使うための道具も色々ありました。  
こたつやアイロンも炭が熱源でした。

照明には電気が使える地域も  
増えていたようですが、  
まだまだエネルギーの大部分が薪と炭でした。

七輪



囲炉裏



おくどさん



火鉢



炭こたつ



炭  
アイロン



こたつ出典 <https://www.ikehikoshop.jp/blog/kotatu/12181/>

@hibana\_kyoto

人類が誕生して以来とても長い間  
エネルギーの中心は木でしたが、  
1960年頃、電気、特にガスの普及が  
急速に進み、暮らしはたちまち  
便利になっていきました。

電気



ガス



@hibana\_kyoto

An aerial photograph of a traditional Japanese village with dark wooden buildings and tiled roofs, set against a backdrop of dense green forest. A semi-transparent grey rectangle is overlaid on the center of the image, containing Japanese text. At the bottom of the image, there is a colorful illustration of a forested hillside with various green trees and pink flowers.

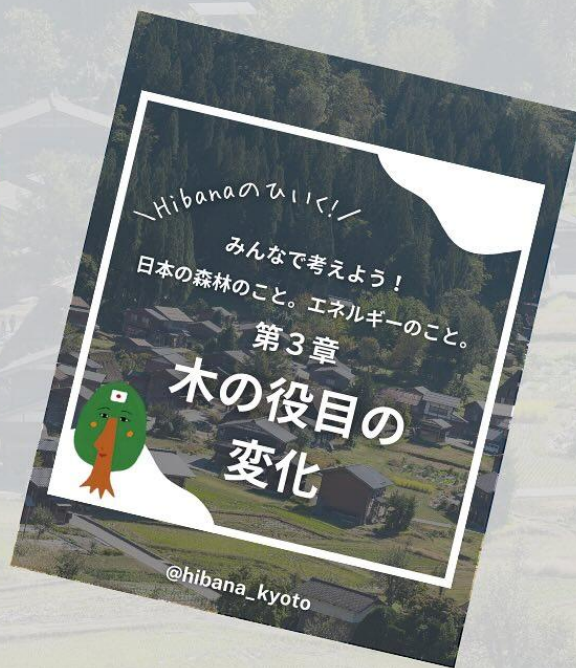
でもひとつ大きな困りごとがありました。

薪炭を暮らして使わなくなると、  
それらを作る人の「仕事」が  
なくなってしまったことです。

@hibana\_kyoto

つづきは次回の投稿で！！

次回の投稿を  
お楽しみに！



@hibana\_kyoto